

# Aa

【ei,ei】

10号  
2016.2.15

「自然や環境」のことに触れなくなったり、  
ライフスタイルを考えたりするヒントが  
この「エイ・エイ」の中に入っていますヨ。

## CONTENTS

- ◆あまくま「はちみつ探し」の旅
- ◆情報交流コーナー：あま・あま・ポン
  - ・うんぱく2015と尼崎運河オープン  
チャンネルフェスティバル
  - ・2045年の尼崎はどうなっている？  
AMAGASAKI TO THE FUTURE
  - ・あまがすきハーフマラソンの紹介
- ◆尼崎21世紀の森LIFE：
  - ・森林イノベーションの源泉②
- ◆尼崎の森中央緑地：大芝生広場OPEN

「環境とライフスタイルを考えるフリーマガジン」2016年2月15日発行 NPO 尼崎21世紀の森 <http://www.amaz21mori.net/>

## 「あましん」地域の環境文化の創造活動

「第5回 あましんグリーンプレミアム」の最優秀賞や各部門賞が決定しました。

「あましんグリーンプレミアム」は、環境改善に寄与する技術や製品・工法・取組みやアイデアについて表彰をするものです。地域のみなさまが行っている環境への取組みにスポットをあて当金庫独自の表彰を行い積極的に発信していくことを通じて、環境文化の創造に繋げて行くことを目的としています。当金庫は、今後も地域金融機関として商品・サービスの提供やCSR活動を通じて、地域の環境保全にも主体的な役割を担っていきます。

- 環境事業部門(事業者を対象)
- 環境活動部門(法人・個人・団体を対象)
- 環境アイデア部門(法人・個人・団体を対象)



川上利之理事長 / 善見高男代表：富松城跡を活かすまちづくり委員会

「第5回あましんグリーンプレミアム」の最優秀賞は、富松城跡を活かすまちづくり委員会の「自然環境を活かした地域コミュニティの創造」が応募数(107案件)の中から選ばれ、受賞しました。地域のシンボルである尼崎の富松城跡や富松神社を活用し、親子や地域住民のコミュニティの場を設けて、さまざまなプログラムを実施されてきたことが高く評価されました。



## 尼崎21世紀の森 あましん植樹祭

平成27年10月10日「尼崎の森中央緑地」で、『あましん植樹祭』を開催しました。第3回定額積立定期預金『どんぐりの木』に加入された「苗木の里親」のみなさまをはじめ、公募で集まっていたみなさま、当金庫役員を合わせた約2,000名が「あましん活動の森」で、クヌギやウバメガシなどの苗木、3,000本の植樹を行いました。オープニングセレモニーでは、当金庫会長の橋本博之のあいさつに引き続き、来賓を代表して井戸敏三兵庫県知事、稲村和美尼崎市長にごあいさつをいただきました。当金庫が「あましん活動の森」で、地域のみなさまと植樹した苗木は、今回で合計10,000本となりました。



「尼崎21世紀の森づくり」を応援しています。

**尼崎信用金庫**  
AMASHIN

<http://www.amashin.co.jp>

あましん 検索



# 岸本吉二商店



菰樽とはなんですか？

樽を藁の菰で包んだのが菰樽です。江戸時代、伊丹や灘といった銘醸地の酒は江戸で人気がありました。酒を江戸に海上輸送する際に、四斗樽(72リットル)の破損を防ぐ目的で酒樽に菰を巻きつけたのが菰樽のはじまりといわれています。また、ほかの銘柄と区別するために銘柄の特徴を表したデザインが描かれました。これは、広告媒体として店頭装飾に利用されました。



もりあげ樽  
「DonPa! (ドンパ)」



「三百五十年ほど前に誕生し受け継がれてきた菰樽は、尼崎で発展してきました。今でも全国の酒造メーカーの菰のほとんどをつくっています。」

21世紀の森で生まれた「あまくま」が、森を出て尼崎の老舗を紹介するよ!

## Amakuma

- ◆誕生日: 8月2日
- ◆生まれたところ: 尼崎21世紀の森
- ◆性別: 妖精
- ◆好きな食べ物: ハチミツ
- ◆得意なこと: おいしいハチミツを見つける

vol. 03

## あまくまハチミツ探しの旅



こもだる

## 菰樽が

### できるまで



### 菰づくり

菰は稲藁を織って作りま。四斗樽用の大きい菰を作るために、稲穂が長い藁が必要です。昔はどんな米の稲穂でもよかったです。が、今は強風に煽られないように品種改良され穂が短くなっています。穂の長い山田錦の稲藁を使うようになりました。

現在は生産されていない貴重な機械を使って織っています。



### 荷造り

- ①樽に菰を巻き、三か所できしませ(綴じ縄)。
  - ②縄を通して締めつけていきます。
  - ③上のほうを編み込み、結び目に赤い紙を巻きます。
- これは封印のしるしです。熟練工は一個あたりなんと約10分で仕上げています。大きい樽も小さい樽も作り方は同じですが、小さいほうが作業が細かいので縄を巻くのが難しいんです。



### 現在の菰樽の使われ方は？

結婚式や新年のお祝いの際の鏡開きやレストランやパレルショップなどのインテリアとしても使用されています。また、ミラノ万博の日本館でも展示されました。

最近では、若いデザイナーたちとコラボレーションすることによって伝統に新しい風を吹き込んでいます。海外からの需要やインターネット販売も増えています。



### 感想



岸本吉二商店で受け継がれてきた菰樽は、  
 接着剤を使わずすべて手作業で作られているんだって。  
 職人さんの手さばきは、素早くとてもかっこよかったよ!  
 初めて鏡開きを体験して、とってもおめでたい気分になりました。  
 杉の香りがほのかにしてお酒がもっとおいしくなると感じたよ。



「ミニ鏡開きセット」

株式会社 岸本吉二商店  
 〒661-0001  
 兵庫県尼崎市塚口本町2-8-25  
 TEL: 06-6421-4454  
 http://www.komodaru.co.jp



【あまがすきハーフマソン】  
2016年(平成28年)、尼崎市は  
市制100周年を迎えます!

センチュリーイヤーだけの特別イベント!  
みんなと一緒に盛り上げてみませんか?  
応援しませんか?



尼崎21世紀の森づくり構想に呼応し、NPO法人尼崎21世紀の森(広報部つたえ隊)は約11年の間、森の成長を見守ると同時に情報発信し、共に歩んできました。

イベント予定地の周辺には、尼崎スポーツの森、尼崎の森中央緑地パークセンターなど、人が集い思いの時間を過ごさせる施設が充実してきて一層の拡充が続いています。

そこに市制100周年を記念するハーフマソンが官民一体となり開催される運びとなったのは、単なる偶然ではなく尼崎21世紀の森づくり構想に関わる多くの人々の気運を盛り上げる出来事に思え、さらなる発展・飛躍への一步になると感じます。

♪ 昨今、人気を博し流行するマソンという事もあり、大きな盛り上がりや期待させる同イベントを一緒に応援しましょう!



ランナーを募集しています!

募集期間: 2015年10月16日～2016年4月30日 (先着順)  
募集方法: 公式サイトをご確認ください  
あまがすきハーフマソン  
<http://www.ama-half.com>



コース案内図



開催日時 **2016年10月16日**

雨天決行  
午前**9時**スタート

尼崎市市制100周年記念  
あまがすきハーフマソン  
～これまでの100年をこれからの100年へつなぐ～

【尼崎21世紀の森:情報・交流コーナー】

# あまあまポン

このページでは「尼崎21世紀の森づくり」の活動の様子をお知らせします。



『うんぱく2015』と「尼崎運河オープニングフェスティバル」なんと、同時開催!



2015年10月31日(土)と11月1日(日)の二日間、尼崎運河を楽しむ秋の恒例行事「うんぱく(尼崎運河博覧会)」。そして、今年も過去、現在、未来の尼崎運河を学ぶ「ニ崎運河オープニングフェスティバル」を同時開催しました。会場は、尼崎市立成良中学校及び、北堀キヤナルベース周辺。  
10月31日の夜には、浜田化学株式会社との協力で、北堀であい橋のライトアップとその周辺でホワイトディナーを開催しました。  
来年もこの勢いを絶やさず盛り上がっていききたいものです。

# AMAGASAKI TO THE FUTURE

2045年の尼崎はどうなっている?  
ニ崎トゥザフューチャーセッション

100年かけて森を作る「尼崎21世紀の森」。この超未来志向なプロジェクトと同じように、30年後の未来を市役所職員と市民が考える会議が2015年12月18日に開催されました。  
2015年は映画「バックトゥザフューチャー2」で描かれた未来の年ということで、劇中の未来予想がどれだけの忠実に注目が集まりました。空飛ぶクルマはまだ実現していませんが、次の30年後(2045年)にはクルマの自動運転化はもちろん、平均寿命が100歳を超えているとも言われています。



会場の amare(アマレ)に集まった20人の参加者がグループに分かれ、2045年の尼崎を大予想。「すべてのものがシェアされる時代になる」「科学技術が進歩する一方、昔の暮らしに戻る」など、これからの森づくりにも参考になる意見と出会いました。  
主催した尼崎市では、会議の内容を受けて「尼崎未来予想図」を作成する予定。森がどうなっているのか、楽しみます。

第2回  
森林イノベーションの源泉②

～欧州からの学び～

今、森が生まれ育まれようとしている尼崎。自治体としては日本最大の森林面積を誇る岐阜県高山市。一見すると全く関係ない両都市だが、ここでは高山市を基盤に活躍する井上氏から森林業から派生する多様なイノベーションを紹介してもらい、森林からもたらされる恩恵に思いを馳せ、これから森づくりを活性化したい尼崎の希望につなげていきたい。

第二回目は、「ヨーロッパからの学び」をテーマに森林のイノベーションの源泉を考えていきたいと思えます。毎年のように、ドイツやオーストリア、スイスをはじめとする林業地を訪れる機会があります。ドイツへ赴き最初に驚かされたのは、ホームセンターでした。

台所をDIYで  
つくりたい夫なんが  
男じゃないわ!

写真①はドイツのホームセンターの様子ですが、至る所に無垢材が並べられています。日本のホームセンターではあまり見かけない光景ではないでしょうか。近くにいた女性にお話しを伺うと、「台所をDIY



ドイツのホームセンターの風景(写真①)

でつくりたい夫は男じゃないわ」と言っていました。木を「自ら」使い共に暮らす文化が根付いていると言えるのではないのでしょうか。

森づくりに工夫が見られます。写真②と写真③は近接する山林で、写真③は15年手入れを行ってきた山林、写真②は15年間何も施してこなかった山林です。

欧州(私が見てきたのはドイツ、オーストリア、スイスですが)における自然と調和しつつ天然更新を行いなから行う山林経営を目の当たりにし、日本の森林のあるべき姿を見たような気がしました。



手入れを行っていない山林(写真②)

これらヨーロッパの山林は大きく三つの機能があるといわれています。

①保護機能  
水の浸食や洪水の防止など水害を防ぐ働きです。

②利用機能  
木材の利用を行う機能です。欧州に特徴的な「道づくり」のインフラが適切な森林管理をサポートしています。

③社会機能  
リフレッシュやレクリエーション機能です。山を見る際に、多くのハイキングをする人や自転車で乗る人、ベンチで休憩を取っている人を見かけました。



15年間手入れを行ってきた山林(写真③)

森林を通じて生まれ変わろうとしている尼崎。森林を通じて得られる機能は多岐にわたります。特に工業団地の中にたえず森には、保護機能や社会機能を通じた社会的福祉の増進に繋がるのではないのでしょうか。



井上 博成氏  
京都大学大学院経済学研究科博士課程：植田研究室所属。岐阜県高山市出身。自然エネルギー利用日本一や木材の持続的な利用を目指して研究・実践活動を進めている。



季節は冬真っ只中という感じですが、これから春に向けてのお知らせということ・・・。

兵庫県では、尼崎の臨海地域の工場跡地で100年をかけた森づくりを進めているのですが、この壮大な計画の実現のために中心的な役割を果たしているのが、県立尼崎の森中央緑地です。

昨年の秋、この緑地に県立公園の中でも最大規模の広さ(2.4ha)の大芝生広場がオープン。下の写真の様に広々としてとっても気持ちの良い空間となっています。オープンに合わせて行なわれたイベント(森のピクニック)では、たくさんの来場者が、広大な芝生の上で食事をしたり、かけっこをしたり、思い思いの時間を過ごされていました。

今はまだ芝生は色づいていませんが、これから暖かくなるにつれ、少しずつ緑の絨毯を敷き詰めたような美しい色あいを見せてくれますので、皆さんぜひ一度足を運んでください。



【アクセス方法】

- 電車・バスの場合  
阪神出屋敷駅から阪神バス乗車。  
「尼崎スポーツの森」下車徒歩5分
- 車の場合  
阪神高速5号湾岸線「尼崎末広IC」  
から西に約1km  
※無料の駐車場があります。

【お問い合わせ先】

- 県立尼崎の森中央緑地パークセンター  
TEL:06-6412-1900

編集後記

読者の皆さま、フリーマガジン『Aa』の第10号を発刊できますことを心よりうれしく思います。また、これもひとえに2010年の創刊号発行からご協力いただいた方々と、それを応援してくださった方々のおかげとスタッフ一同、心から感謝いたします。

創刊時の思いを綴った趣意があります。「かつて公害の町と言われた町だからこそわかる環境の大切さ」この尼崎から発信する環境とライフスタイルのフリーマガジン『Aa』です。これからも創刊時の初心を忘れず、フリーマガジン『Aa』は、『尼崎21世紀の森』が育ち、広がるように新境地を開拓していきたいと思えます。

(編集長 岸本幸三)

尼崎の森中央緑地  
大芝生広場  
OPEN



一緒に尼崎21世紀の森づくりをしませんか！  
編集スタッフを募集しています！

「環境とライフスタイル」を考えるフリーマガジン

エイ・エイ：2016年10号(2月15日発行)  
NPO尼崎21世紀の森 Aa 編集局  
ホームページ <http://ama21mori.net/>  
〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町3-2-2 大信ビル3F  
TEL 090-8233-4079

Chief Editor 岸本 幸三  
Editor/Writers 池添 恵実 中山 優奈 藤原 悟  
池田 和也 守 宏美 村岡 直樹  
薄井 洋一 森井 敬介 山口 東吾  
小川 陽香 森上 恒 吉田 梨恵  
田中 弘之  
Designers 児玉 泰江 杉本さやか 田万まどか  
鳥山 大樹 ヒロコ・TG  
Print ウニスガ印刷(株)